

科目名	成人・老年看護方法Ⅱ (成人慢性) Adult・Gerontological NursingⅡ			担当教員 (研究室番号)	関根 由紀 (504)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次後期	科目区分	専門科目・生涯看護学			選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	演習	科目等履修生	否
												オープンクラス	否
科目目的	慢性疾患とともに生きる人とその家族が抱えている問題を身体的、心理的、社会的特徴から理解し、慢性期看護における理論・概念を用いて看護援助を修得する。また、慢性の各期(局面)に応じた看護について学ぶ。												
ディプロマポリシー(DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)											
	関連するDP	E 地域社会に暮らす人々の生活支援において必要となる情報を分析し、健康課題を解決するための方策を考えることができる。(思考・判断)											
到達目標	1. 慢性疾患とともに生きる人とその家族の特徴について説明することができる。 2. 慢性の各期(局面)における身体的・心理的・社会的変化に応じた看護について説明できる。 3. 慢性疾患の病態を踏まえ治療の特徴を理解し、生活への影響を説明することができる。 4. セルフマネジメントを促すための継続的な看護援助を説明することができる。 5. 慢性疾患とともに生きる人を支える家族への看護について説明できる。 6. 慢性疾患をもつ人とその家族への看護援助に活用できる概念や理論、モデルを理解することができる。												
成績評価方法(基準)	筆記試験86%、レポート・ミニテスト14%を合計して科目合格の評価とする。												
再試験の有無と基準等	定期試験を受験し不合格となった場合、再試験を実施する。再試験は筆記試験のみとする。												
教科書	成人看護学 慢性期看護(改訂第4版)(南江堂)、系統看護学講座 専門Ⅱ:成人看護学⑦、⑧、がん看護												
参考書等	適宜紹介する												
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	授業での学習はもちろんのこと、それ以外の内容も積極的に自分で学習することを期待します。演習は、授業中に提示する課題について事前学習・自己学習を活かし、グループワークを行い看護において必要な思考力を高める目的でディスカッションをしてもらいます。グループあるいは履修者全体で自分の考えを積極的に述べることを期待しています。また、講義・演習の最後にミニテストを行い講義内容の理解を深めます。												
備考													
回	学習項目					学習内容					主担当教員	授業方法	
1回	慢性疾患の特徴、慢性期看護の役割、その専門職とチーム医療					慢性疾患とともに生きる人の特徴、病気の受け入れるプロセスや自己概念への影響について知ることができる。そして、慢性疾患を有する人とその家族への援助について学ぶ。					関根	講義	
2回	呼吸器系の障害を有する人とその家族への援助					慢性呼吸不全(慢性閉塞性肺疾患 COPD)の治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を理解し、患者および家族への援助について学ぶ。					関根	演習	
3回	化学療法を受ける人とその家族への援助					大腸がんにより化学療法を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。					関根	演習	
4回	放射線療法を受ける人とその家族への援助					乳がんにより放射線療法を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。					関根	演習	
5回	循環器系の障害を有する人とその家族への援助					慢性心不全の治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。					関根	演習	
6回	腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助					慢性腎臓病の治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。					関根	演習	
7回	代謝・内分泌系の障害を有する人とその家族への援助					糖尿病の治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。					関根	演習	
8回	脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助					脳梗塞により慢性期の治療を受ける患者の身体的、心理的、社会的特徴を知り、患者および家族への援助について学ぶ。					関根	演習	
学 習 課 題													
演習は、講義内容に基づいた課題についてグループで話し合う。事前課題レポートは、ルーブリック評価表における評価項目に沿って評価する。事前学習およびルーブリック評価表については、事前学習提示時に「Web Class」にアップロードする。													
1回目課題(事前): 慢性疾患を有する人の特徴とチーム医療、疾病の受け入れ過程について自己学習しておく。													
2回目課題(事前): 慢性呼吸不全(慢性閉塞性肺疾患: COPD)の病態生理と治療、包括的呼吸リハビリテーションについて自己学習しておく。													
3回目課題(事前): 大腸がんの集学的治療、化学療法を受ける患者への看護に関する課題レポート													
4回目課題(事前): 乳がんの集学的治療、放射線療法を受ける患者への看護に関する課題レポート													
5回目課題(事前): 慢性心不全患者の病態生理と治療、自己管理に向けた看護について自己学習しておく。													
6回目課題(事前): 慢性腎臓病の病態生理と治療、人工透析に伴う身体的・心理的変化と生活への影響について自己学習しておく。													
7回目課題(事前): 糖尿病患者の病態生理と治療、自己管理に向けた患者教育について自己学習しておく。													
8回目課題(事前): 脳梗塞の病態生理と治療、高次脳機能障害のある患者への看護について自己学習しておく。													
実務経験を活かした教育の取組													
・担当教員は、看護師として実務経験がある。また、看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義及び演習を行う。													